

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年11月9日
【四半期会計期間】	第99期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部長 林 幸照
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部長 林 幸照
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第2四半期連結 累計期間	第99期 第2四半期連結 累計期間	第98期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	15,493,858	15,817,388	31,021,878
経常利益(千円)	584,804	831,787	1,103,088
四半期(当期)純利益(千円)	305,452	667,505	494,686
四半期包括利益又は包括利益(千円)	440,441	900,891	27,857
純資産額(千円)	12,077,489	12,347,300	11,534,613
総資産額(千円)	33,578,809	34,655,648	35,527,516
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	17.35	37.93	28.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.4	30.7	27.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	683,167	1,228,438	1,365,194
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	949,212	1,080,415	2,306,408
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	458,559	1,718,343	2,764,051
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,996,867	2,803,229	4,268,490

回次	第98期 第2四半期連結 会計期間	第99期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	8.47	26.34

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう、以下同じ。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、化粧品事業において韓国にDEMI KOREA CO.,LTD.を設立しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興事業等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州を中心とした金融問題や円高の長期化、新興国の景気減速の懸念などから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は158億1千7百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は8億3千6百万円（同37.2%増）、経常利益は8億3千1百万円（同42.2%増）、四半期純利益は6億6千7百万円（同118.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

化学品事業

売上高は120億6千3百万円（同2.0%減）、セグメント利益は4億7千7百万円（同16.2%減）となりました。

海外では、韓国やインドネシアが好調に推移したものの、中国華南地区が繊維市場減速の影響等により苦戦し、国内では、自動車関連薬剤は回復がみられましたが、長期化する円高の影響等で製紙・情報記録紙用薬剤等が低迷し、売上高は減少しました。

化粧品事業

売上高は37億5千3百万円（同17.8%増）、セグメント利益は9億7千5百万円（同36.2%増）となりました。

美容サロン業界は顧客単価減少など環境悪化が続く中、デミコスメティクスでのスカルプ&ヘアケアシリーズ「ピオーブ」を中心にしたヘアケア剤拡販、イーラル株式会社での積極的な事業展開が奏功し、売上高は増加しました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが12億2千8百万円得られたものの、有形固定資産の取得に伴う支出10億9千8百万円や、借入金の減少15億9千2百万円等により、前連結会計年度末に比べ、14億6千5百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には28億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は12億2千8百万円（前年同期は6億8千3百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億7百万円、減価償却費6億4千万円を計上しましたが、仕入債務の減少に伴う減少2億1千5百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10億8千万円（前年同期は9億4千9百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は17億1千8百万円（前年同期は4億5千8百万円の調達）となりました。これは主に、借入金の減少及び配当金の支払によるものです。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、8億9千8百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
江守商事株式会社	福井県福井市毛矢1丁目6番23号	2,558	14.44
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5番1号	2,338	13.20
日華共栄会	福井県福井市文京4丁目23番1号	1,673	9.44
有限会社江守プランニング	福井県福井市宝永2丁目1番30号	1,444	8.15
日華化学社員持株会	福井県福井市文京4丁目23番1号	775	4.38
江守 康昌	福井県福井市	528	2.98
江守 幹男	福井県福井市	504	2.84
財団法人江守アジア留学生育英会	福井県福井市文京4丁目23番1号	500	2.82
株式会社福井銀行	福井県福井市順化1丁目1番1号	344	1.94
宗教法人妙見山歓喜寺	福井県南条郡南越前町清水51-1-2	338	1.91
計	-	11,006	62.10

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 110,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,480,000	17,480	-
単元未満株式	普通株式 120,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,480	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	110,000	-	110,000	0.62
計	-	110,000	-	110,000	0.62

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,168	2,910,390
受取手形及び売掛金	3 7,599,027	3 7,583,883
商品及び製品	2,612,571	2,683,589
仕掛品	593,584	511,431
原材料及び貯蔵品	2,517,857	2,559,949
その他	734,148	766,683
貸倒引当金	31,978	31,679
流動資産合計	18,398,379	16,984,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,096,678	5,202,507
機械装置及び運搬具(純額)	1,964,765	2,080,787
土地	6,034,750	6,077,405
その他(純額)	1,547,956	1,845,133
有形固定資産合計	14,644,151	15,205,834
無形固定資産		
のれん	24,312	24,139
その他	486,933	435,573
無形固定資産合計	511,245	459,713
投資その他の資産	1,973,740	2,005,852
固定資産合計	17,129,136	17,671,400
資産合計	35,527,516	34,655,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,827,363	3,636,789
短期借入金	7,622,144	7,112,014
未払法人税等	117,568	165,951
賞与引当金	397,000	487,000
その他	1,472,532	1,344,985
流動負債合計	13,436,608	12,746,740
固定負債		
長期借入金	7,486,264	6,439,345
退職給付引当金	2,242,580	2,263,236
その他	827,450	859,026
固定負債合計	10,556,294	9,561,607
負債合計	23,992,903	22,308,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,169	3,040,249
利益剰余金	6,692,217	7,271,724
自己株式	45,824	46,112
株主資本合計	12,585,107	13,164,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,039	50,767
為替換算調整勘定	2,774,611	2,587,716
その他の包括利益累計額合計	2,694,571	2,536,948
少数株主持分	1,644,077	1,719,841
純資産合計	11,534,613	12,347,300
負債純資産合計	35,527,516	34,655,648

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,493,858	15,817,388
売上原価	10,508,942	10,398,292
売上総利益	4,984,916	5,419,096
販売費及び一般管理費	1 4,375,444	1 4,582,867
営業利益	609,472	836,229
営業外収益		
受取利息	4,844	6,313
受取配当金	13,698	15,120
負ののれん償却額	1,308	-
持分法による投資利益	66,983	61,551
その他	98,023	95,724
営業外収益合計	184,858	178,708
営業外費用		
支払利息	83,345	78,481
為替差損	45,839	39,257
売上割引	38,309	43,495
その他	42,030	21,915
営業外費用合計	209,525	183,150
経常利益	584,804	831,787
特別利益		
固定資産売却益	699	3,744
特別利益合計	699	3,744
特別損失		
固定資産除却損	7,982	3,051
固定資産売却損	391	203
投資有価証券評価損	-	1,665
ゴルフ会員権評価損	1,310	-
減損損失	2 20,260	2 23,302
災害による損失	63,255	-
特別損失合計	93,199	28,223
税金等調整前四半期純利益	492,304	807,308
法人税等	101,425	123,111
少数株主損益調整前四半期純利益	390,879	684,197
少数株主利益	85,427	16,692
四半期純利益	305,452	667,505

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	390,879	684,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,263	29,271
為替換算調整勘定	59,825	245,965
その他の包括利益合計	49,561	216,694
四半期包括利益	440,441	900,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,014	825,070
少数株主に係る四半期包括利益	85,427	75,820

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	492,304	807,308
減価償却費	692,786	640,777
減損損失	20,260	23,302
災害による損失	63,255	-
のれん償却額	-	174
負ののれん償却額	1,308	-
投資有価証券評価損	-	1,665
ゴルフ会員権評価損	1,310	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,312	20,658
賞与引当金の増減額(は減少)	36,000	90,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	895	1,144
受取利息及び受取配当金	18,542	21,433
支払利息	83,345	78,481
為替差損益(は益)	18,531	12,502
持分法による投資損益(は益)	66,983	61,551
固定資産処分損益(は益)	7,673	488
売上債権の増減額(は増加)	61,873	68,454
たな卸資産の増減額(は増加)	542,466	17,428
仕入債務の増減額(は減少)	4,140	215,763
未払消費税等の増減額(は減少)	21,877	25,157
その他	121,132	50,241
小計	723,173	1,359,966
利息及び配当金の受取額	151,991	125,843
利息の支払額	85,550	76,290
法人税等の支払額	106,446	181,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	683,167	1,228,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	79,480
定期預金の払戻による収入	44,521	79,480
有形固定資産の取得による支出	956,108	1,098,474
有形固定資産の売却による収入	1,217	4,500
投資有価証券の取得による支出	6,925	7,262
投資有価証券の売却による収入	11	-
その他	31,930	20,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	949,212	1,080,415

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	17,318,586	19,195,976
短期借入金の返済による支出	16,522,111	19,984,746
長期借入れによる収入	1,761,120	138,800
長期借入金の返済による支出	1,963,017	942,379
配当金の支払額	87,591	87,791
少数株主への配当金の支払額	48,219	37,994
自己株式の売却による収入	18	412
自己株式の取得による支出	224	620
財務活動によるキャッシュ・フロー	458,559	1,718,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,603	105,059
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	202,117	1,465,261
現金及び現金同等物の期首残高	2,794,749	4,268,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,996,867	2,803,229

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、DEMI KOREA CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,157千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	
	外貨額(千)	円換算額	外貨額(千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$9,250	25,745千円	NT\$5,500	14,571千円

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高	5,860千円	4,060千円
受取手形裏書譲渡高	6,982	9,400

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	295,870千円	240,522千円
支払手形	85,712	101,141

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
役員報酬及び給料	1,180,020千円	1,207,955千円
賞与引当金繰入額	180,041	245,090
退職給付引当金繰入額	69,480	67,629
貸倒引当金繰入額	2,463	-

2 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

場所	用途	種類
福井県越前市	遊休資産	土地

当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。

当第2四半期連結累計期間において、事業の用に供していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額20,260千円を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額をもとに実勢価格を加味して評価しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

場所	用途	種類
台湾台北県板橋市	操業停止予定の工場等	建物及び構築物等

当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。

当第2四半期連結累計期間において、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額23,302千円を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価額は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	3,123,195千円	2,910,390千円
預入期間が3か月を超える定期預金	126,328	107,161
現金及び現金同等物	2,996,867	2,803,229

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	88,007	5	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	88,005	5	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	87,998	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	87,996	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,306,138	3,187,719	15,493,858	15,493,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,104	13,594	18,699	18,699
計	12,311,243	3,201,314	15,512,557	15,512,557
セグメント利益	569,928	716,605	1,286,534	1,286,534

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,286,534
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	2,395
全社費用(注)	687,585
四半期連結損益計算書の営業利益	609,472

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

四半期連結損益計算書上の減損損失20,260千円は、全社資産である遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分された固定資産の減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,063,521	3,753,866	15,817,388	15,817,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,287	11,406	13,693	13,693
計	12,065,808	3,765,273	15,831,082	15,831,082
セグメント利益	477,605	975,714	1,453,319	1,453,319

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,453,319
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	3,704
全社費用（注）	628,921
四半期連結損益計算書の営業利益	836,229

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について、当該資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、23,302千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	17円35銭	37円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	305,452	667,505
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	305,452	667,505
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,601	17,599

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・87,996千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・5円00銭

(ハ) 支払い請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

日華化学株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。